

日時：2018年1月4日（木）

行程：658 佐倉－東京－池袋－坂戸－943, 1015 越生～1040, 1050 世界無名戦士の墓～1110, 1120 西山高取～1200, 1245 大高取山～越生梅林～1400, 1434 ニューサンピア埼玉おごせー1447, 1510 越生－坂戸－1613, 1900 池袋－御茶ノ水－錦糸町－千葉－2040 佐倉

歩行時間：2時間40分、歩行距離：6.3km、累積標高差：上り400m、下り360m

一昨年の伊豆ヶ岳、昨年の黒山三滝に引続き、3年連続奥武蔵で新年山行である。総武線、山手線、東武東上線と乗り継ぎ、坂戸で東武越生線に乗り換える。誰かいるかと先頭へ向かうとT氏が手を振っていた。車内には登山者のグループも多い。終点の越生駅は八高線の駅でもある。

「スイカの方は2ヶ所でタッチして下さい」駅員の呼び掛けに

「2回金取られるのか」と叫ぶおじさんもいる。改札口を出ても見覚えがない。

「この駅に降りるのは初めてだな」

「何言ってますか。去年ここからバスで黒山三滝に行ったじゃないですか」

Tさんに突っ込まれる。1年前のことを完全に失念しており、改めて駅の外も見渡したが全く記憶にない。いやはや毫碌したもんだ。10分程で次の電車が到着し、KN、KJ、Y氏と合流。今回は総勢5人とやや寂しい。

10時15分出発。駅のすぐ前の法恩寺を右折してすぐ左折。舗装路を緩やかに登って行くと、左に越生神社、右に正法寺を見送り世界無名戦士の墓を目指す。途中右手のスギ林の中に墓地があり違和感を覚える。スギが枯れて倒れたら墓が壊れてしまうがどういふつもりだろうか。沢山の墓に囲まれた樹木の伐採など考えられない。

世界無名戦士の墓の下には長い階段があり、中学の陸上部と思しき大勢の若者がトレーニングに励んでいる。この斜面と階段で鍛えたら強くなるだろう。100段を超える階段を登りきると東側が大きく開けて展望は素晴らしい。冬空をバックに左手の筑波山からさいたま市のビル群、スカイツリーなどくっきり。関東平野の広さを実感する。



「地平線が何となく丸く見えるね」

「所沢の西武ドームが光ってるよ」

ようやくここから山道となり、スギやヒノキの植林の中、歩きやすい道を登り始める。北風が強くなりスギやヒノキが大きく揺れてぶつかる音がする。すごい迫力で枝が落ちてきそうだ。

「ヘルメットあった方がいいね」

去年4度の手術で1年間闘病したKN氏は足取りも軽く調子よさそうだ。4年前大きな手術をしたKJ氏も元気だ。幼児の集団がワイワイ降りて来た。そういえば階段下の駐車場に保育園のバスがあった。あとから3歳の子も。樹林を抜けて南面の展望が開けた。標識は無いが、ベンチにマジックで

「ここが西山です」と書いてある。

「みんなここが西山かな？と思うから答えを書いたんだね」

ここから少し下り、左へ稜線を巻くようになだらかな道を辿る。どこまでもスギとヒノキの植林が続く。林床にはアオキ、アセビ、ヒサカキなど常緑の低木が入れ替わりに現れる。やや急な上りをしばらく進むと三角点のある大高取山に着いた。12時丁度だ。先客が一人コンロでお茶を沸かしている。ほとんどスギに囲まれているが西南方面だけ開けている。

相変わらず北風が強いので少し低い場所を見つけてシートを広げる。手際よくKN氏が恒例の餅を焼いてくれ、Y氏が海苔を巻く。KJ氏が紅茶を沸かす。アルコールはないが柔らかな陽光の中、コーヒーまで楽しみ、ゆったりした気分になる。当初、南の桂木観音方面へ下って「ゆうパークおごせ」という日帰り温泉へ立ち寄るつもりだったが木曜は休み。

仕方ないので北の越生梅林方面へ下り「ニューサンピア埼玉おごせ」というホテルへ向かう。山頂を辞して下り始めるとようやく左斜面は自然林となり、コナラやイヌシデなど落葉樹が登



場。落葉が道を覆い隠しており急斜面では滑りやすい。一度滑って尻もちを着いてしまった。

つるつとした木肌にいぼのような皮目が目立つ落葉樹の巨木があったが、葉がないので同定できない。帰宅して樹皮の図鑑を調べたがホオノキ、イヌブナ、エノキ、イイギリ辺りだろうと思われる。右は相変わらず植林が続き、時折木々の間からゴルフ場がチラッと見える。集落の道に出ると左手になんと養蚕農家があった。

今は蚕を飼っていないようだが、総2階で二つの越屋根を持つ典型的な養蚕農家である。1階が住居、2階が蚕室で天井がなく通気を良くするため越屋根を設けてある。埼玉県では一番養蚕が盛んだった秩父に現役の農家が多く残っている。絹の探求者としては思いがけない出会いに嬉しくなる。

バス道に出て右へ進むとすぐ越生梅林の大きな看板があった。この梅林は水戸偕楽園、熱海梅園と共に「関東三大梅林」の1つとされており、南北朝時代に武蔵国小杉村に大幸府より天満宮を分祀する（梅園神社）際に梅を植えたのが起源で、一帯では2万5千本程の梅が栽培されている。分祀された梅園神社にも立ち寄りお参りする。

のんびり歩いて14時頃ニューサンピア到着、結構くたびれた。駅までのバスは1時間に1本。次のバスまで30分程。非常にせわしないがさっと入浴することに。TさんがJAF会員なので日帰り温泉はタオル付で600円に割引。山靴を脱ぐのももどかしくエレベーターに飛び乗り脱衣場へ急ぐ。

大きな駐車場に車が一杯だったので、大混雑と思いきやロッカーはがら空き。内湯も露天風呂もほとんど貸切状態。どうやら皆さんホテル内に併設の大衆演劇がお目当てのようだ。お蔭でゆったりと温まり疲れた体もすっきりさっぱり。去年も乗ったバスに乗り込み越生駅へ向かう。YACとしては過去最低標高376mの山だったが十分楽しい山旅だった。あとはお決まりの池袋の焼き鳥屋「鳥定」での新年会が待っている。

2018. 1. 6 井形記

\*追記：今回はネタが豊富なため久しぶりに紀行文を書いてみました。これで越生の駅を忘れることもないでしょう。やっと412回。目標の山行500回までまだまだ先は長いです。もう少し回数を増やしたいと思っています。



